

会社創立は1894年。約100年間にわたる社史をひもとけば、それは、弦楽器というフィルターを通して語られるポピュラー音楽史に通じるものとなる。つまり、ギブソンは、その長い歴史の中で、これらの弦楽器の開発・生産において多くのエポックを残し、それが音楽シーンの動きに多大な影響を与える結果を生んでいるからだ。そもそも弱音楽器と言えるアコースティックの弦楽器にとって、いかにしてクリアーで大きなボリュームのサウンドを得るかということは、その楽器の基本的な性能を

左右する大きな問題であった。従って、ミュージシャンたちのニーズも、その点に集中していた。現に1940年代、エレクトリック・ギターを実用化するまでのギブソンも、ミュージシャンたちの切実な要求を満足させるためにこの点を基本的なテーマとして研究を重ね、新開発の革新的なノウハウを駆使したマスタートーン・バンジョーやフール・アーチドトップ・ギター、ジャンボ・ボ

ディ・フラットトップ・ギターなどの生産で、すでに技術力、信頼性、サウンドなどすべての面で他の追従を許さない、押しも押されもしないトップ・マニファクチュアとして業界をリードする存在となっていた。しかも、ギブソンのこういった努力によって、これらの楽器の演奏スタイルが徐々に変わっていったことも事実なのである。ちなみに、このビッグ・ボリューム、クリ

アー・サウンドの究極のテクニックとして生まれてきたのがエレクトリック・ギターの概念といえるが、その開発や実用化に際しても、100年近くにもなるしっかりとしたアコースティック楽器製造技術の蓄積を持つギブソンは、他のメーカーの追従を許さないユニークな発想と芸術的とも言える木工技術によって、数多くの名器を世に送り出し続けている。



Super 400 VS
Serial No.93401862